



2006.Oct

看護しずおか Vol.3

財団法人復康会 鷹岡病院のみなさんです!

- 第49回通常総会報告
- 防災訓練



平成18年

第49回 静岡県看護協会 通常総会開催

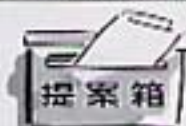
日 時：6月22日(木) 10:00～

場 所：静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ中ホール・大地

会員数：16,067人 出席者数：515人 委任状：9,681人数



全ての議案・報告が承認・可決された



会場に設置した提案箱へのご意見ご提案ありがとうございました。執行部一同真摯に受け止め、今後の活動に活かしていきます。

☆教育研修に関する意見

- ◇いろいろな企画を立てて頂き、様々なご苦勞がおりかと思ひます。ありがとうございます。一般の方が気軽に参加できるような研修が、もっとあればよいと思ひます。
 - ◇参加できる研修が少ない。年1回音楽会でも開いてください。ストレス社会に対する対策を考えての研修を多く開いてください。
 - ◇認定看護管理者制度セカンドレベル教育課程の聴講が出来ることはとても良い。ありがとうございます。今後も継続をお願いします。
 - ◇感染予防や事故対策・分析等の研修が、県内で継続的に受講できると、全県的に質の向上に繋がると思ひます。
 - ◇県内で認定看護師養成研修の実施を検討していただきたい。受講しやすくなると県内で働く看護職のスキルアップとキャリアプランに合い、マンパワーの温存にもなると思ひます。
- 戴いたご意見は、現在進めている「活性化計画推進の教育研修計画」に活かしていきます。

☆総会運営に関する意見

- ◇総会は土曜に開催してはどうか。現場から多くの役職者がいなくなるのは支障がある。
- 総会開催曜日についてアンケートを行い、その結果を踏まえて再検討します。
- ◇会員の減少等により経費も厳しい折、削減できるところは削減してください。
- ・本日の生花は舞台2箇所と、中央に1つ。1つだけにする。
- ・また、2月・6月の2回開催の通常総会を1回にする。出席する人も仕事を休んできています。1回にすることによって弁当代、会場借り上げ経費の削減ができます。
- 開催回数については、公益法人の指導監督基準により、予算の承認と決算の承認は、同一の日において議決することが一般的にはできない性格のものであるから“一事業年度に2回以上とするのが原則”とされています。
- 生花は、静岡県看護連盟と賛助会員様からの寄付で、会場に花を添えていただいております。

☆看護を取り巻く環境に関する意見

- ◇入院基本料算定上、勤務時間総数に研修時間は含めないで、研修に出しにくくなっています。何らかの工夫が必要となりました。
- ◇7対1看護を取るため、実働時間を計上算定するに当たり、出張・研修は実働時間に含まれません。そのため、研修会の出席も昨年より減りました。今後、看護協会の役員・委員の依頼や研修会参加も全て断らなければならない状況になっています。認定看護管理者制度ファーストレベル・セカンドレベル教育課程への出席も今年度は中止しました。出張・研修等も実働時間に含まれるようになると、協会活動に積極的に参加できると思ひます。又、今後の協会入会者の減少に影響してくるのではないかとと思ひます。
- ◇看護師の離職率の高さは過酷な労働によるものと考えられる。看護職はその殆どを女性が占めており、特に育児時期に大きな負担がある。社会的なサポートが少ない中で、看護協会として、育児支援の環境を整える何かができないでしょうか。
- ◇現在、看護師学校養成所2年課程（通信制）に通学している准看護師です。他県まで通っています。静岡県内に開校できないでしょうか。また、今後この制度が何年続くのか、通学生は皆不安に思っています。現在通学している私たちは良いのですが、他の准看護師のことを考えると、少しでも長く、多くの准看護師が看護師となれるよう願っています。よろしくお願いします。

日本災害看護学会 第8回年次大会に参加して

防災対策委員会 石川弥生（富士宮市立病院）

メインテーマ：災害看護活動の多様性 —国際・地域・教育の場づくり—

ワークショップ：「誰が安心できる災害看護の場づくり ～災害時要援護者対策を考える～」

A:情報と避難 B:避難所と暮らし C:地域と備え D:こころのケア

平成18年7月28日(金)29日(土)、お台場の東京国際交流館プラザ平成・日本科学未来館で、日本災害看護学会が開催されました。

4つのワークショップのいずれかに参加し、グループワークを通して、情報交換をしました。その中でも、静岡県の防災の取り組みは、行政・地域・看護協会どれに関しても、進んでいると実感しました。

最近、看護教育の現場でも、災害看護教育が取り上げられ、看護学生の時から、基礎知識、判断、技術、心構え、行動力等を習得させる学校が増加してきています。看護職は、他の専門職と連携し、災害救護活動時、リーダーシップが発揮できると痛感しました。

昨年度、この学会で、静岡県看護協会の災害対策の取り組みをシンポジウムで報告しました。そこで、今後も、本会の経過を報告する為に、「災害支援ボランティアナース登録者の意識調査」について口演しました。演題41題中、都道府県看護協会は、本県と大阪・埼玉・三重・石川・高知の6府県でした。

災害支援ボランティアナースの登録者は、8月1日現在449人です。今後も、地区支部・各施設の所属長様のご理解とご協力を賜りながら、活動を続けていきたいと考えております。



静岡県看護協会 災害支援ボランティアナース 登録者の意識調査

静岡県看護協会 防災対策委員会

調査対象と方法

- 調査期間：平成18年2月～3月
- 対象：支援ナース登録者 218人*
- 方法：調査用紙を郵送し回収
- 調査項目：1.対象者の背景について
2.登録について
3.登録後の活動について
4.本会防災対策委員会の活動について

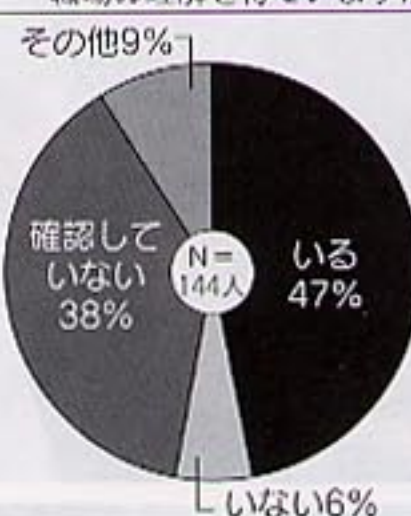
災害支援ボランティアナース登録状況*

	認定者	登録者	比率
H16.1.30.	273人	73人	27%
H16.5.15.	120人	18人	15%
H17.1.29.	182人	69人	38%
H17.5.28.	152人	58人	38%
合計	727人	218人	33%

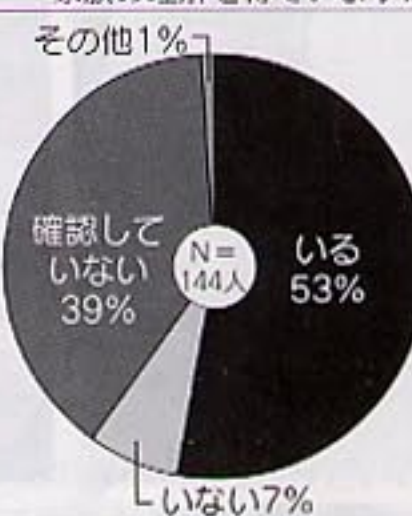
今回の調査の結果

- ・派遣に関する意識・理解が乏しい
- ・派遣に関する準備不足がある
- ・登録者のモチベーションの維持の必要性があることが浮き堀りになりました。

Q1：登録者として、職場の理解を得ていますか

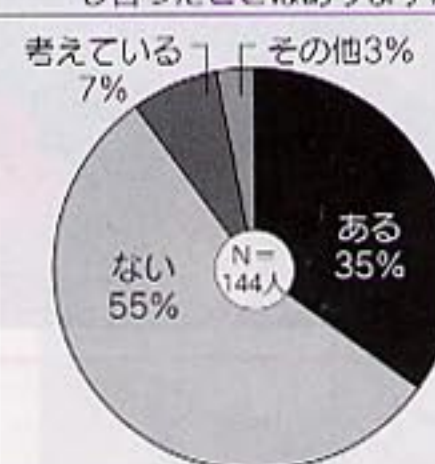


Q2：登録者として、家族の理解を得ていますか

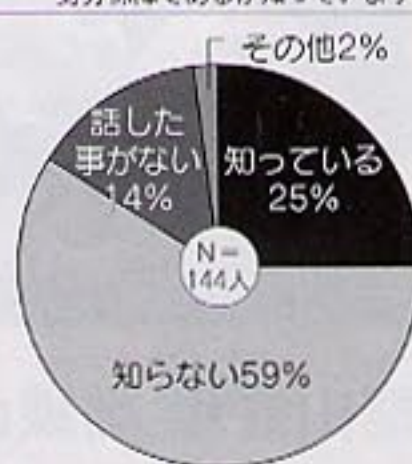


登録に際して、職場・家族への確認を得ていない者が、半数を占めている

Q3：所属長と派遣について、話し合ったことはありますか



Q4：いざ派遣時、ご自身がどのような身分保障であるか知っていますか



いざ、派遣要請があっても、所属長と自分の身分保障を話していない者が多い

今後委員会として…

- ①災害活動マニュアルの説明 ②フォローアップ研修 ③所属長の理解 ④派遣時の支援 に取り組みます。

総合防災訓練

東海地震観測情報の発表から発災初期の応急対策までの地震防災訓練が政府の訓練に連携して、県下一斉に行われました。地域住民や自主防災の方々とともに、看護協会員も参加しました。



12市町村が合併した浜松市を会場に、9月1日県総合防災訓練が行われました。会場には、市街地や山間部の災害を想定したエリアが設けられ、災害場所からの救助、搬送、医療救護の流れで訓練が行われました。

訓練は、大雨によりテントが設置できないために予定されていた訓練内容が変更され、別のエリアのテントを応急救護所として医師5名、看護師12名、市職員4名、その他のスタッフでトリアージ訓練が行われました。しかし訓練が始まり、搬送されてくる患者はすでにトリアージがされている患者も多く、さらに死亡の判定がされている患者もテント内で再度トリアージするという状況がありました。その状況下でも、医師、看護師、市職員がコミュニケーションをとり協力しながら、特に混乱することなく訓練を行うことができました。

今回悪天候のため、訓練内容が変更となりその情報がなかなか入らず、困惑する状況がありました。災害時には、情報が少ないため混乱状況は当然起こると思います。医療救護活動をしていくためには、地域の医療救護場所と指示機関との連絡を確実にできるように、指示連絡システムと連絡手段の検討を十分にする必要があると感じました。また同時に情報の少ない中で活動するためには、現場の関係者がコミュニケーションをとり判断することが求められると感じました。こうした地震は、いつ、どの状況下で起こるか分かりません。あらゆる状況を考えて訓練をしていくことが、今後必要であると今回の貴重な体験をさせていただき、学ぶことができました。

(浜松地区支部

浜松市リハビリテーション病院 藤下典子)

龍山会場 訓練レポート

ライフラインの閉ざされた避難所で、地域住民が一昼夜を明かす避難所運営訓練が行われました。北遠地区から応急救護訓練に7名参加し、地元の自主防災隊の方たちと熱心にとりくめ、有意義な訓練でした。



「男女共同参画の日」県民フェスティバル あざれあメッセ2006に参加して

事業部常務理事 村谷圭子

「男女共同参画の日」県民フェスティバルは、県民の男女共同参画についての理解と関心を深めるため、県と民間団体との協働により、毎年7月に開催されています。

本会は、静岡県男女共同参画センター交流会議の団体会員で、地域や他団体等との交流を深めるために、例年、このフェスティバルに参加しています。

今年度は、2つのワークショップを企画し運営しましたので、概要をお知らせします。ちなみに、男女共同参画とは、「性別や年齢、障害の有無に関わらず、お互いを思いやり、支え合いながら、自分らしく生き生きと暮らす」ことにあります。



ワークショップⅠ

『個性を生かして 看護の道へ進みませんか』

リーダー：沼津市立病院 宇賀神美代子

〈ねらい〉

誰もがよりよく生きていくためのライフサポーターとしての看護職。男女誰もが個性を生かすことのできる専門職として参加者に興味・関心をもってもらいたいことから、看護講座や進路相談並びに、なりきりナースの撮影会を行い、「看護への道」の情報発信と啓発を図ることとした。

〈開催日時〉7月29日（土）10時～15時30分

〈入場者数〉114人

〈内容〉○ 看護ミニ講座

○ 出前看護進路相談

○ なりきりナース撮影会

〈来場者の感想〉

- ・ビデオ（だから看護のシゴト）や紙芝居（ナイチンゲール物語）で関心が深まった。
- ・看護職の仕事の話などを聞いて、理解できて良かった。
- ・ナースユニホームやキャップを着けての写真撮影の機会に巡り合った。ナースに憧れていたもので、瞬間でもナースになった気分が味わえた。



小林・鈴木・岸本・村谷・伊藤・田辺・宇賀神

ワークショップⅡ

『こころとからだのリフレッシュ』

リーダー：静岡済生会総合病院 外山雅子

〈ねらい〉

健康支援の一環としての「アロマセラピー」と「リフレクソロジー」を行い、来場者の日頃の疲れを取り除いて癒し効果を高め、元気に生き活きと活動してもらうことをねらいとした。

〈開催日時〉7月29日（土）13時～15時30分

〈入場者数〉48人

〈内容〉○ アロマセラピーの実施

○ リフレクソロジーの実施

○ マッサージ方法の指導

○ 日常生活の健康指導

〈来場者の感想〉

- ・足裏マッサージや肩から手にかけてのマッサージを受けて、大変、気持ちが良かった（多数のご意見）。からだが温かくなり、ほっとした気分になった。疲れも吹き飛んで癒された。
- ・施術してもらいながら、食生活や普段の生活の持ち方、また健康に関することなど色々なことを教わってよかった。



小野田・佐野・瀧戸・外山・小杉
安達・嶋田(美)・嶋田(肖)・村谷

看護師学校養成所2年課程(通信制) 支援相談開設のお知らせ

★准看護師から看護師への道★

10年以上の経験をもつ准看護師が看護師になるための教育として、16年度から開催された看護師学校養成所2年課程(通信制)は現在19校が開校しています。

静岡県から現在103名の仲間が通信教育で学んでいます。あなたも看護に自信と誇りをもってステップアップしてみませんか!

私たち静岡県看護協会看護師職能委員会では、通信制2年過程に進もうとしている方々に対し情報提供と相談窓口を開催します。



日 程	1回目 9月14日(木)	時 間	10:00~15:00
	2回目 10月13日(金)	内 容	学校紹介から必要経費、学習方法 など気軽にご相談ください
	3回目 11月15日(水)		
	4回目 12月 7日(木)	問合せ場所	静岡県看護協会エスパティオ3階
	5回目 2月 6日(火)		TEL 054-202-1750
	6回目 3月 9日(金)		静岡県看護協会看護師職能委員会 准看護師制度委員会

看護協会役員等立候補者の届出(募集)について

静岡県看護協会では、平成19年度の役員(会長・監事)並びに職能委員(保健師・助産師・看護師)を広く会員から募集します。

－立候補の方法－

※役員または職能委員に立候補しようとする者は、会員5人以上の推薦を受けて届け出なければならない。(細則第12条より)

届出方法…別紙立候補届に記入のうえ、下記宛先へ郵送して下さい。

〔 用紙は推薦委員長または事務局までご請求下さい。または、静岡県看護協会ホームページ【お知らせ】情報からダウンロードできます。 〕

宛 先…静岡県看護協会 推薦委員会
静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階

締 切 日…平成18年10月31日

平成18年度新規事業「病院派遣型再就業研修」

8月末までに52病院から協力申し出を受け、県西部浜松医療センター、浜松リハビリテーション病院、静岡赤十字病院、沼津市立病院、三島社会保険病院において計6人が受講した。現在、16人から研修の申込みを受けている。引き続き、関係各位のご協力をお願いします。

会員の皆さん、お知り合いの潜在看護師の方々に、是非、この研修のご案内をしてください。

(問い合わせ先：静岡県ナースセンター 電話 054-202-1761)

研修生より

離職している間に、医療や看護の状況が大きく変わっていて、戸惑うことが多かったが、看護師長さんをはじめ、スタッフの方々が温かく受け入れてくれ、有意義な研修をすることができた。そして、久しぶりに患者さんとの関わりを持ったことにより、自分が看護の仕事が好きであることを再認識し、もう一度仕事をしようという勇気を持つことができたのは大きな収穫であった。まだまだ、潜在看護師がたくさんいると思うので、このような研修があることを広く知らせ、是非、受講してもらいたいと思った。(県西部浜松医療センター)

実施病院より

今回、受講者の目的が明確であり、受け入れ側とも十分なコミュニケーションを図り研修ができた。個別看護実践や点滴静脈注射は5日間の研修では達成困難であったが病棟カンファレンスの場で看護過程を学ぶことができた。注射や採血は就業後でも問題ないと思われる。総合的に充実した研修であり、再就業には有効であったと評価できる。



「病院派遣型研修」第1号ということで2名の研修生を受け入れ無事に終了した。研修生は非常に積極的に取り組み、その態度やマナーは受け入れ側にもよい刺激となった。また、指導者には、子育て中のスタッフに依頼したが、働きながらの子育ての話もでき、復職への動機付けになった。研修生がもっと増え、その人の条件にあった職場に1人でも多く復帰されることを期待したい。

静岡赤十字病院

望月 律子



県西部浜松医療センター

山本 加枝子



三島社会保険病院

齋藤 清江



離職期間が長く、再就業に不安を抱く研修生を受け入れたが、受け入れ側も不安を抱いてのスタートだった。医療の進歩はめまぐるしく、本人の不安に拍車をかけたが、5日間、看護の現場に身をおいて研修したことにより、「不安はあるが少し勇気が出た。看護師としての再就業への気持ちが沸いてきた。とてもよい機会を与えてもらった」との感想を述べていた。研修対象者は条件も年齢もまちまちで受け入れは難しいが、この研修が再就業への動機になり1人でも多く復職してくれることを願い、希望があれば今後も受け入れたい。

沼津市立病院

宇賀神美代子



当院では8月に従来型再就業講習会(集中講義)を実施し、引き続き、新企画の病院派遣型再就業研修で、離職年数の長い研修生を受け入れた。研修生の熱意と前向きな姿勢に研修に関わったスタッフからは就業への熱いラブコールが上がった。今後も、日常業務多忙の中ではあるが、職員の協力を得て、希望者があれば受け入れていきたい。9月からは、熟練コースの研修受け入れがはじまり、関係者から注目を浴びている。各機関と連携し、1人でも多くの潜在看護師の復職に貢献したいと考えている。



ふれあい network

財団法人復康会 鷹岡病院



鷹岡病院は、精神科単科の病院です。昭和44年6月開院、ベッド数189床、看護4単位です。「開かれた、選ばれる医療機関」として存在することを医療方針に掲げ質の高い精神科医療に取り組んでいます。平成16年度より富士圏域の精神科救急を輪番制で実施しています。平成17年度からは、365日、24時間医療を必要としている人々に応えるために全職種で対応しています。また、今年の3月病院医療機能評価を受審しました。機能評価の言葉が聞かれない日はないという忙しい日々を経験しました。今は結果待ちです。当院看護部では、「病める人を全人的に理解し、個々のニーズに応じた看護を実践する」を看護理念とし、個人の尊厳と権利擁護、信頼関係の構築、よりよい治療環境の提供、特に看護者一人一人が患者様にと



って重要な環境の一要因であると考え、一人一人を大切に笑顔で優しい看護を実践しています。21世紀は人権の世紀と言われています。精神科医療への理解と精神疾患への誤解と偏見を無くしたいと願い、開院記念日の6月には毎年「ふれあいの日」を行い、地域の皆様と模擬店やアトラクションで一緒に楽しみます。また、「こころの時代」公開講座を企画し、市民の皆様への精神科医療の啓発に努めています。今年も11月4日(土)ロゼシアターで精神科医の講演を予定しています。病いにある患者様とその方々をかこむすべての人々の視点に立ってよりよく生きるための精神科看護を創造し実践しています。



原田 信子

◎社団法人静岡県看護協会



戻る

進む

中止

更新

ホーム

自動入力

プリント

メール

アドレス: @http://www.shizuoka-na.jp/

移動

ホームページ更新情報

Contents

施設利用案内

ご利用・お申し込み方法等についてはこちら

医療・看護安全相談

医療・看護に関するご相談はこちら

まちの保健室

地域に密着した看護サービスの提供

訪問看護ステーション

住み慣れた地域生活での在宅ケアの充実

KANGO SHIZUOKA

広報誌看護しずおかのバックナンバー

おしゃべり広場

一般公開の掲示板です様々な意見交換にお使い下さい

6月に更新されました！皆様の御意見・御感想をお待ちしています。

■お知らせ...

2006年09月06日 静岡県看護協会役員等立候補者の届出について【募集】 NEW!
2006年09月05日 平成18年度東海・北陸地区看護研究学会 NEW!
2006年09月05日 平成18年度静岡県看護協会看護研究発表会 NEW!
2006年09月04日 第11回日本在宅ケア学会 開催のお知らせ NEW!
2006年08月31日 2007年CNR・ICN学術集会【ボランティア募集】
2006年06月19日 (社) 静岡県看護協会ロゴマーク図案募集

■研修・講習会情報...

2006年09月01日 (社) 静岡県看護協会後援のセミナー【静岡県創傷・褥瘡セミナー】
2006年08月28日 平成18年度 地区支部研修のご案内(更新)
2006年08月16日 日本看護協会 新人看護指導者研修: 情報管理
2006年08月11日 教育研修【受講者追加募集のお知らせ】

■イベント情報...

2007年CNR・ICN学術集会
2007年05月27日~2007年06月01日
子育て支援キャンペーン 笑顔でギュッと! パパママ応援団2006
2007年03月24日~2007年03月25日

どんどんアクセスして下さいね。おしゃべり広場にも遊びに来てね。



ロゴマーク図案募集

※詳細はVol.2 (4ページ参照)

締め切りまじかです

9月30日必着

【お問い合わせ】社団法人静岡県看護協会(広報委員会)